

5年	科目	How To Become a Global Engineer	講義	集中	担当	James Molloy
全学科共通			選択	1履修単位		
授業の概要						
<p>1. 日常的に地球規模で人と物と情報が移動し交り合っている現代の産業活動の中では、世界を知り、国際感覚をもって物事を考え、判断できることは技術者にとって不可欠な能力となっている。そのために本授業では、世界を意識した思考と姿勢を育て、国際的な受信・発信能力を養成することを目標としている。</p> <p>2. 授業の実施形態としては、英語を母国語とする外国人を講師とし、英語で授業を進行する。グループ討論やグループ行動を豊富に取り入れ、実践的能力を養う。</p> <p>3. 夏季休業期間に開講し、5日間の集中授業で実施する。</p>						
本校学習・教育目標(本科のみ)			目標	説明		
			1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度		
			2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力		
			3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力		
		○	4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力		
			5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢		
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)						
実践指針 (専攻科のみ)						
授業目標						
<p>1. 豊かな国際感覚とコミュニケーション能力を養成する。</p> <p>2. 世界を意識して生きる技術者としての思考と姿勢を育てる。国際的な受信・発信能力を養成する。</p>						
授業計画						
第1回	Breaking The Ice	緊張をほぐし、積極的なコミュニケーションを始めることの重要性を伝える。生徒がペアになってお互い質問に沿ったインタビューを行い、その後自分のパートナーについて全員の前で紹介を行う。				
	What is a Global Engineer	グループで「グローバルエンジニアとは何なのか」、「グローバルエンジニアにはどんなスキルが求められるか」を話し合い、答えをプレゼンテーション形式で発表。グループ間で意見の比較を行う。				
	Guest Directors Discussion - Japan's Global View	3名のゲスト講師にそれぞれ45分の講演を行っていただく。その後、45分間のフリーディスカッションとQ&Aの時間を設ける。				
	Guest Introduction	ゲスト講師の紹介				
	Mr. Watanabe Kenji - Representative Director, ABB Bailey Japan	ゲスト講師による講演 ABB日本ベレー株式会社 代表取締役 渡辺健二様				
	Mr. Ishikawa Takaaki - Advisor, Meiden Systems	ゲスト講師による講演 明電システム製造株式会社 顧問 石川隆章様				
	Mr. Nakajima Toshimichi - President, Gaudi Co. Ltd.	ゲスト講師による講演 株式会社ガウディ 代表取締役 中島利通様				
	Free Discussion, Q&A	フリーディスカッション、Q&A				
第2回	Leadership - How to Start a Movement	「グループと個人的リーダーシップ」の意味、日常生活や仕事におけるその重要性をグループディスカッションする。その後グループディスカッションに関連したビデオ映像「How to Start a Movement」を視聴。				
	Knowing Your Customer	グループ演習。クラスの半数が売り手、残りの半数が買い手の役を担当。売り手の目標は高い金額で契約することであり、買い手の目標は低価格で契約すること。演習後、なぜ交渉が成功する場合と失敗する場合があるのか、考えを出し合って結果を検証。この演習によってビジネスにおけるイノベーションの重要性を認識する。				

	Thinking Outside The Box	批判的思考法の訓練 ・周囲の環境を意識する ・観察する能力を研ぎ澄ます ・典型的な考え方と問題の解決策を考えることを学ぶ
第3回	Special Guest Workshop – Mr. Michael Schmidlin “Ideation for innovation”	ワークショップ NPO法人EUFORIA マネージングディレクター スイス出身 Michael Schmidlin氏
	Workshop Part Two – Mr. Michael Schmidlin	ワークショップ NPO法人EUFORIA マネージングディレクター スイス出身 Michael Schmidlin氏
第4回	The Story of My Life	我々を形作る独自の技術や経験について分析。 生徒たちが様々なことに挑戦したり、新しいことを学んだりすることを推奨。 これらの経験がバランスのよい人間形成に役立つ。 (次のビデオセッションにつながるもの)
	Connecting The Dots	スタンフォード大学で行われたスティーブ・ジョブズのスピーチ映像を視聴。スピーチのハイライトについて議論。
	Preparation for Guest lecture	ゲスト講師小野様への、事前に準備していたQ&A。
	Special Guest – Mr. Ono Takeshi Executive Manager, DMW	ゲスト講師による講演 株式会社電業社機械製作所 営業本部海外戦略室主事 小野武様
第5回	Globalization and Its Effects	グローバル化の良い効果と悪い効果、今日の社会において身の回りのものがいかに全てグローバルなのか考察。
	Japan’s Place In The Global Market	日本の工業・産業がグローバル化の恩恵を得ているのかそうでないのか考察。
	The Mother Of Invention	グループ演習。 製品を開発したり企業が独自の製品やサービスを売るための技術、この講座内で議論したすべての事項を使用して行う。
評価方法と基準	<p>Method of Evaluation: Evaluation will be based on individual involvement throughout the course. High scores will be awarded to those who 1) actively engage with the instructor and other members of the course, 2) show leadership and take an active role in all activities, 3) energetically express their opinion on all topics covered, 4) successfully complete all individual tasks and group activities. Advanced English ability is not a necessary part of this evaluation</p> <p>Criteria of Evaluation: Class Grades will be awarded as follows; A Grade between 80–100, B Grade – 70–79, C Grade – 60–69, D Grade – 59 and below. 1) Active participation and eager involvement in group activities and discussions will be 50% of your final score. Higher scores will be awarded to those who eagerly contribute their thoughts and opinions throughout the course with the instructor and the other class members. High scores will also be awarded for individual initiative and motivation, as well as eagerness to lead and work energetically with others. 2) Presentation to the class will account for final 50% of your score. Higher scores will be awarded to those who display creativity and confidence while presenting their ideas to your groups and to the class, in particular for the “SWOT analysis”, “Putting Your Skills to Work”, “Managing Risk”, and any other presentation opportunities. Please note, there will be no written test or examination during this course and all scores will come from the above it</p>	
教科書等	Printed materials will be provided if necessary.	
備考	<p>1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。</p> <p>2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。</p>	